

【社会】



＜学習内容＞「わたしたちの国土」

◆「国土の気候の特色」（教科書42～47ページ）について、取組シートやノートにまとめよう。

(1) (教科書42～43ページ) 長野県松本市の位置を地図帳で確認しましょう。また、教科書の写真や文をもとに、松本市の四季の様子をそれまとめましょう。

ことば(P45)

(2) (教科書44～45ページ) 日本では夏と冬に季節風がふきます。季節風とはどのような風ですか。また、日本の気候にどのようなえいきょうを与えていているのでしょうか。

ことば(P42)

(3) (教科書46～47ページ) 各地の気候には、どのような特色があるのでしょうか。下の（　　）に言葉を入れましょう。

〈日本海側〉 ○季節風と（　　）のえいきょうによって、（　　）に多くの（　　）がふる。

〈太平洋側〉 ○季節風と（　　）のえいきょうによって、（　　）に多くの（　　）がふる。

〈瀬戸内海〉 ○太平洋側の気候と似ていて、（　　）がやや少ない。

〈南西諸島〉 ○気温が高く、降水量が（　　）い。

〈北海道〉 ○寒さがきびしく、年平均気温が（　　）い。

〈中央高地〉 ○夏と冬の（　　）が大きい。

（まとめ） ○日本には、（　　）があり、6つの特色ある気候に分けられる。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・教科書P46のまなび方コーナーに書かれているように、グラフから気候の特色を捉えることはとても有効です。
- ・桜前線、梅雨入り、梅雨明け、台風、初雪、初霜など、季節を表す言葉と四季のある日本の気候を関係付けると効果的です。
- ・梅雨や台風、季節風の影響について、デメリットだけではなくメリットも考えることで、多面的に捉える力が付きます。

※5/11～15、5/18～22の学習課題の解説動画をそれぞれの週の学習課題ページに公開中ですので、ご覧ください。今週の学習課題解説動画も後日公開予定です。



札幌市HP臨時休業中の学習課題の各週のページから解説動画を御覧いただけます。今週の動画も後日公開します。